

兵庫県保険医協会神戸支部 研究会ご案内

医療機関での個人情報の取り扱い ～第三者提供、関連法令やガイドライン～

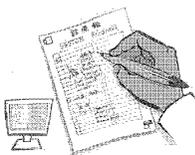
日 時 11月17日(土) 17時30分～ 《参加費無料》

会 場 兵庫県保険医協会 5階会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル5階/
JR・阪神元町駅南へ徒歩7分)

講 師 神戸あじさい法律事務所所属 弁護士 増田 正幸 先生

対 象 医師・歯科医師、医療スタッフ（事務職、看護師等）

個人情報の取り扱いに関する社会的意識が高まるなか、2017年には個人情報保護法が改正され、小規模も含めた全ての医療機関が同法の適用対象となりました。診療録や処方せん、手術記録、看護記録、エックス線写真、紹介状など、患者情報の日常管理や取り扱いについて医療機関管理者やスタッフには、より慎重さが求められています。



患者が交通事故や労働災害、その他トラブルなどに遭遇した場合、保険会社や弁護士、裁判所、警察などの第三者から、患者カルテの開示や傷病名、治療内容などの情報提供を求められることがあります。医療機関は、個人情報の提供・照会の問い合わせに、「個人情報の保護に関する法律」や「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」に沿って対応する必要がありますが、実際にはどう判断してよいか迷うケースも多いと思います。

上記の内容について、神戸あじさい法律事務所の増田正幸弁護士にお話いただきますので、院長、スタッフそろって、どうぞご参加ください。

お問い合わせは、兵庫県保険医協会・事務局（TEL/078-393-1840）まで

【神戸支部研究会(11/17) 参加申込FAX・078-393-1820】

市区郡 _____ 病・医院 _____ ご担当者名 _____

連絡先 Tel _____ 参加者数 _____ 人

(事前質問やお困りのケースなどがあればお寄せ下さい)

兵庫県保険医協会

318号 2018年10月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

心房細動診断率向上セミナー

心房細動治療への理解深まる



神戸赤十字病院循環器内科部長の土井智文先生（右上）と神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科医長の小堀敦志先生（右下）が講演し、73人の参加者が耳を傾けた

神戸支部は10月6日、「ACC（米国心臓病学会）共催プログラム 心房細動診断率向上セミナー」を協会会議室で開催。神戸赤十字病院循環器内科部長の土井智文先生と神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科医長が小堀敦志先生が講演し、73人が参加した。

土井先生は、「心房細動の診断と患者管理の向上を目指して」というテーマで、心房細動の

診断、診断結果に基づいた臨床評価、特に直接経口抗凝固薬（DOAC）作用やワルファリンとの比較などの治療法、そして患者管理による脳卒中予防の重要性について講演した。

小堀先生は「高齢化社会における心房細動治療」というテーマで講演。臨床データを示しながら高齢患者の心房細動治療の問題点について解説した。

患者さんと向き合い充実した診療をしたい

垂水区 みむら内科クリニック 三村純先生

垂水区で昨年4月にみむら内科クリニックを開業した三村純先生。医院を宮武博明支部幹事が訪れ、開業に至った思いやこれからの抱負などを聞いた。



開業のいきさつについて話す三村先生

“もっと患者さんを診たい”と開業

宮武 先生は、昨年開業されたということですが、開業に至るいきさつを教えてください。

三村 長年、神戸市立西神戸医療センターで勤務していましたが、管理職の仕事が増え、患者さんと接する機会が減ってきていました。センターの仕事にはやりがいがありましたが、もっと患者さんを診たいという思いがあり、父親も町医者をしており、その姿をみてきたこともあったので、開業してみるのも良いかと思いました。

宮武 お父様も開業医だったのですね。どこで開業されていたのですか。

三村 長田です。

宮武 すると先生は神戸出身なのですね。

三村 はい。大学は東京だったのですが、神戸市立中央市民病院が当時は珍しい全国公募の研修医制度を行っていました。研修医になるための試験に合格するのは難関だと言われていましたが合格してしまい(笑)、地元の神戸に戻ってくることになりました。試験に合格していなければ大学に残り、違う人生を歩んでいたかもしれません。中央市民病院での専攻医コースが終わる頃に神戸市西区で新しい病院の建設の話があり、それが今の神戸市立西神戸医療センターなのですが、私に声

宮武 消化器内科がご専門ですね。

三村 消化器内科は内視鏡やエコーも使いますし、血管造影など色々な手技を覚えることができ、それらが上達することが楽しかったのです。

宮武 先生は内視鏡のプロですものね。開業されて1年になりますが、いかがですか。

三村 毎日が新鮮です。病院では、後輩に任せることが増えていた内視鏡を自分で行い、消化器

疾患だけでなく、高血圧や糖尿病の患者さんも診なければいけません。日々勉強が必要ですが、自分のペースで診療ができるので毎日充実しています。

父の姿から感じた反戦への思い

宮武 先生のご趣味は何ですか。

三村 山登りです。勤務医の頃は休んでも誰かがカバーしてくれていたもので、遠くの方まで行っていましたが、開業すると自分以外に代わりがないのであまりリスクがあることはできません。最近は近場で山登りをしています。山に登るために日々身体を鍛えています。

宮武 診察室にも山の写真が飾られていますね。

三村 穂高連峰と涸沢の写真です。7月頃に登りましたが、運よくライチョウにも出会えました。他にもビートルズが好きで待合室にビートルズコーナーがあります（上写真）。

宮武 多趣味でいらっしやいますね。

先生は朝日新聞の「声」の欄にお父様に言われて傷痍軍人に募金した思い出を寄稿されていたり、先日自民党元幹事長の古賀誠さんを講師に迎えた市民公開講座にも参加されていたよね。先生の反戦への思いをお聞かせください。

三村 近現代史を勉強すると、第2次世界大戦まで日本が行ったことはほめられたことではなく、その反省が必要だと感じました。だから私は憲法改正なんてとんでもないことだと思います。父は理系学生の徴兵猶予のため出征しませんでした。戦争で多くの友人たちを亡くしました。家族と出かけた際に傷痍軍人を見かけた父はおそらく彼らに出征した場合の自身の運命を重ねていたのだと思います。

宮武 私も葺合の出身なので当時は多くの傷痍軍人を目にしました。特に三宮方面でよく見かけましたね。先生は9条の会（兵庫県医師の会）に入っていると思いますが、ぜひ核戦争を防止する兵庫県医師の会にも参加していただければと思います。それでは最後に一言お願いします。

三村 施設基準の届出についても協会は電話1本でおしえてくれると伺いました。今後は保険請求についても協会を頼りにしていきたいですね。協会の共済制度も充実していますので、まだ入っていない先生もご利用いただけたらと思います。

宮武 今後もぜひ協会を利用してください。本日はありがとうございました。



待合室にあるビートルズコーナーで記念撮影

【三村純先生ご略歴】1959年兵庫生まれ。87年順天堂大学卒業。神戸市立中央市民病院や西神戸医療センターでの勤務を経て、2017年4月～みむら内科クリニック開業